

テーマ

学びと職業のジェンダー平等に向けて

王子第二小学校
第六学年
児童

I このテーマの記事を選んだ理由を書いてください。

私は小さい頃から虫や魚、動物など生き物が好きで幼稚園では他の女の子たちはかわいいらしい絵本を持ってくる中、一人だけ大きくてふっ厚い生き物図鑑を持って行き、友達のお母さんたちに「女の子なのに虫が好きなんだね」「女の子なのにめずらしいね」とよく言われていた。私はどつして「女の子なのに」と言われるのが不思議だった。そして、今回「学びと職業でも男女で差がある」という記事を見つければ、興味を持った。

II 比べる記事のそれぞれの内容について分かったことを書いてください。

① ①について日本で理系の大学に進学する女性の割合は、海外と比べて特に低い。しかし、高校段階では、女性も理系分野で成績上位である。最近では職場体験や女性技術者などの交流イベントなど、理系の女子の育成を目的としたイベントが増えつつある。

② ②について2025年までに東証プライム上場企業の女性役員比率を19%にする政府目標について、4割の企業が達成できずうたと答えたが、女性役員は9割が社外からの登用だった。一方、社内昇格させるケースが殆ど部長級以下で目標が達成できず、うたとした企業は1割にとどまった。特に、理系は女性が少ない採用競争が厳しさを増している。

①と②を比べて分かったこと、自分で調べてみたいこと。

①と②は共通する問題として、理系の女性が少ない現状をあげている。日本の女性は高校の段階では、理系分野で成績上位であるのに、どうして理系に進学する女性の割合が他国と比べてこんなにも低いのか疑問に思い調べてみたいと思った。

III テーマについて、自分の考えや他の人と交流をして気付いたこと、調べたこと、提案などを書いてください。

調べてみると、日本は世界的に男女格差が大きいといわれ、世界国際フォーラムの発表している「ジェンダーギャップ指数」では2023年度は146ヶ国中125位だったことがわかった。理系に女性が少ないのは、このような文化的背景が原因かもしれない。例えば、小さい頃から、男の子はロボットや電車、女の子はままごとや人形遊びのおもちゃが与えられること、男の子は物づくり、女の子は家庭的にというジェンダーギャップがあった。近年では日本でもジェンダーレス化の動きがあり、おもちや売り場や男女の区別をしなくなったところもあるそうだが、子ども向けプログラムや教室の男女比は、男82%、女18%とまだまだジェンダーギャップは大きいようだ。他にもロールモデルが少なく、文系の方が職業のイメージがしやすい、妊娠、出産のことを考えると、研究職に就きにくいなどの原因が考えられた。

私は、まだ自分自身が理系か文系どちらに進むのがわからないが、女の子だからという偏見にとらわれずに、様々な分野のことに興味を持って、広い視野を持って学んでいきたいと思う。また、社会に出てからも、女性だからという理由で何かをあきらめずに働ける未来をみんなが協力してつくっていききたい。